

年度 2008 学期 後期	曜日・校時	月・3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生物の科学—遺伝子、タンパク質、そして薬— Biological Sciences –Genes, proteins and medicines–			
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義		教室	
対象学生(クラス等)	全学部		科目分類 自然科学科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 尾崎 恵一 /Eメールアドレス:kozak@nagasaki-u.ac.jp /研究室:薬学部 4F 細胞制御学 /TEL: 095-819-2418 /オフィスアワー: 午前中(質問受付時間)				
担当教員(オムニバス科目等)	梶島 力 大脇 祐一			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい、到達目標: 1、 生命の設計図ともいうべき遺伝子の基本概念について具体例を挙げて講義し、それらを理解できるようにする。また、遺伝子とその表現型について学び、議論しあうことでそれらを説明できるようにする。 2、 遺伝子によって規定されているタンパク質の構造と機能について学び、それらを理解することができるようにする。 3、 病気の原因と薬の作用機序に関する講義を視覚的に行い、それらの基礎知識を身につけるようにする。 授業方法: プリントおよび液晶プロジェクターを用いたプレゼンテーションによる視覚的効果に重点をおいた講義をこころがける。 課題をあたえ、調査研究しグループ発表を行ってもらう。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 生命をつかさどる分子から病気や薬についての基礎知識までを薬学部教官 3 人が概説する。 尾崎担当) 第1回 遺伝情報と生命 第2回 日本人の遺伝子 第3回 病気と遺伝子Ⅰ 第4回 病気と遺伝子Ⅱ 第5回 課題発表会 梶島担当) 第6回 タンパク質の性質Ⅰ 第7回 タンパク質の性質Ⅱ 第8回 タンパク質の機能Ⅰ 第9回 タンパク質の機能Ⅱ 第10回 タンパク質の機能Ⅲ 大脇担当) 第11回 生体と薬Ⅰ 第12回 生体と薬Ⅱ 第13回 生体と薬Ⅲ 第14回 生体と薬Ⅳ 第15回 生体と薬Ⅴ				
キーワード	遺伝子 タンパク質 酵素 薬			
教科書・教材・参考書	教材用のプリントを配布する。参考図書に関しては適宜紹介する。			
成績評価の方法・基準等	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況(40%)、プレゼンテーション(10%)、レポート試験(50%)により総合的に判断する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				